

2020

10月

第58号

ボラ・ほっと

発行:北名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター(Tel:0568-25-8500) 編集:北名古屋市ボランティア連絡協議会

手話サークル『あいの会』

30周年



リモートで会議中!

手話サークル『あゆみの会』

30周年



7/22(水) 社協本所大会議室で手話講座

音訳ボランティア『はと』

20周年

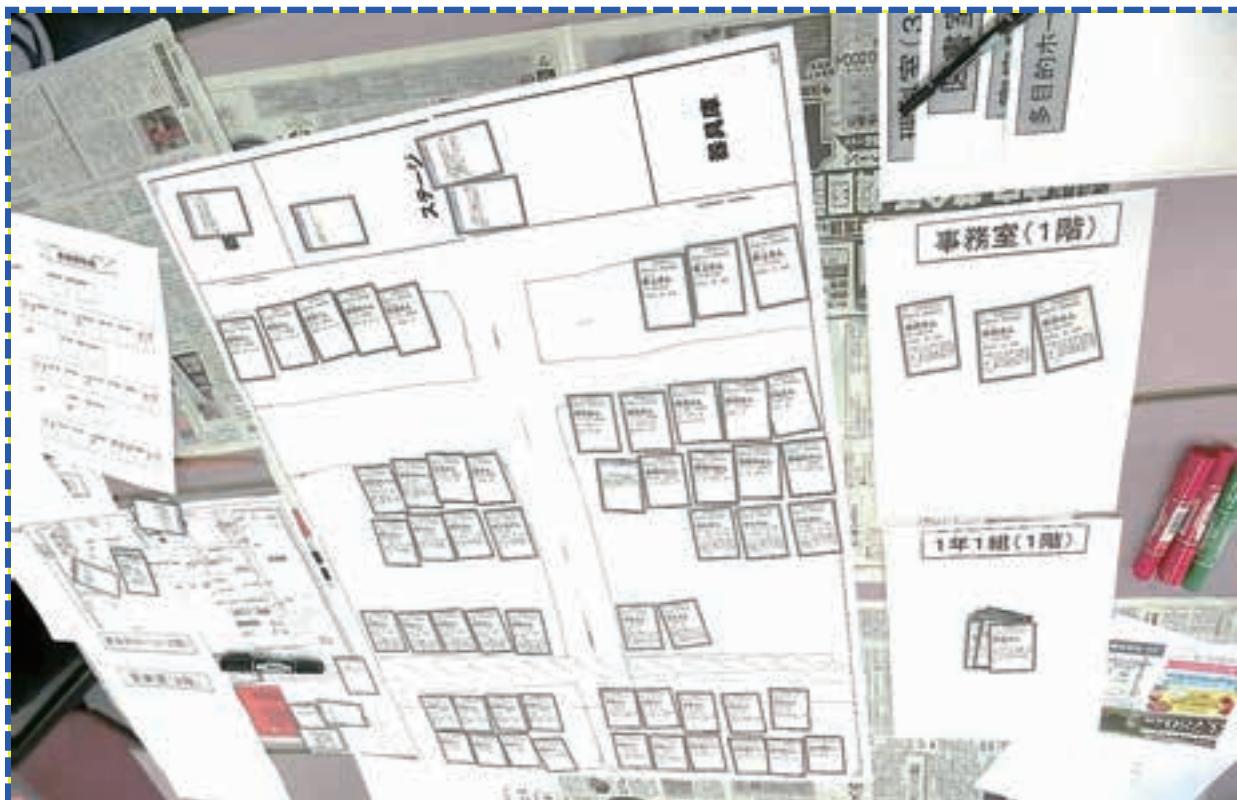


7/21(火) もえの丘で編集会議

大樹のように根強く続く
ボランティア活動

※ボラ・ほっとは、皆さんから寄せられた共同募金の配分金の一部で作成しています。

北なごや防災ボランティア



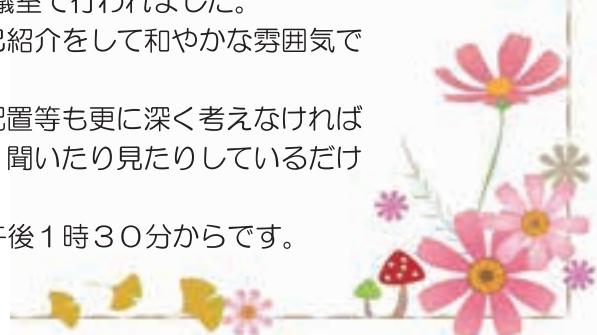
H(避難所) U(運営) G(ゲーム)は、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢、性別、国籍、抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくか模擬体験するゲームです。

7月11日（土）防災講習会が、もえの丘ボランティア会議室で行われました。

参加者は社協職員含む13名で、二つのグループに別れ自己紹介をして和やかな雰囲気で始められ、HUGが続けて行われました。

避難された方への配慮に、コロナ感染等の対策も加われば配置等も更に深く考えなければなりません。災害等のニュースを気に留めながらの講習会は、聞いたり見たりしているだけでとても良い勉強になりました。

※北なごや防災ボランティアの活動日は、毎月第4土曜日午後1時30分からです。



西春点訳クラブ



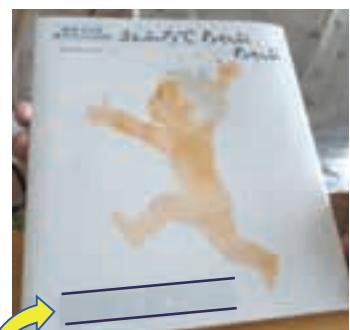
絵本の点字本を依頼された加藤 葉与さま

「障害福祉のご案内」をみたのが

きっかけで依頼しました。

私は視覚に障がいがあり、子どもに絵本を読むのがとても大変でしたので、ボランティアさんにお願いできるのであればと思い依頼しました。

点字シールの貼る位置などの要望にも応えてくれてとても嬉しいです。



実際に点訳された絵本

点字を読んでる手が
絵に被らないように
しています。



社協本所での活動は毎週月曜日午後2時からです。自宅のパソコンで点訳した議会だよりと新聞のコラム等を校正しています。

今回の絵本も視覚障がいの方への依頼に寄り添えるように点訳に取り組みました。

北名古屋おもちゃ病院

使われなくなったおもちゃの収集は、しばらく中止します！

毎年ふれあいフェスタで、皆さんから提供していただいたおもちゃを《おもちゃリユース広場》で先着順にお渡ししてきましたが、今年はふれあいフェスタが中止のため、残念ながらおもちゃの収集は中止にさせていただきます。おもちゃリユースが出来るようになりましたら「ボラ・ほっと」等でお知らせします。

おもちゃ病院は、毎月第1日曜日もえの丘2階のボランティア専用室で午前10時から午後3時まで開院しています。



社会福祉協議会と意見交換会



7月28日（火）代表者会と意見交換がもえの丘ふれあい健康ルームありました。社協からは山下会長・堀部事務局長・大野次長・V担当の田端さんにお出席していただき、各団体のアピールと希望、要望などを聞いていただきました。

コロナ禍でも、何時何処でも災害は発生しています。
こんな時こそ非常用持ち出し袋を点検しておきましょう！



- 従来の非常持ち出し袋に追加したほうが良い物
- ・マスク（ない場合はキッチンペーパーと輪ゴム）
 - ・アルコール消毒液
 - ・ハンドソープ
 - ・使い捨てビニール手袋、ビニールエプロン
 - ・ゴミ袋
 - ・体温計

北なごや防災ボランティア

『ボラ・ほっと』に関するお問い合わせは、
〒481-0033 北名古屋市西之保藤塚93番地
北名古屋市社会福祉協議会 ボラ・ほっと係
TEL 0568-25-8500
E-mail : fukushi@kitanagoya-shakyo.jp

エッ Say !

新型コロナウイルス対策で4月16日に緊急事態宣言が出た後、市の各施設は閉館になりました。しかし、もえの丘のデイサービスは続けていくとの話があり、会員に話をしたところ、体調が良い人だけ手伝うことで引き受けました。

毎日検温とマスクを付けてスタッフの手伝いをして、5月末まで4名で乗り切りました。6月からは、もえの丘も条件付きの開館となり、会員も毎日増えてきて現在は新しい生活スタイルを続けながらデイサービスのボランティアをやっています。本当に苦しい時に手伝っていた人達に「ありがとう！」の笑顔を贈りたいと思います。

てのひら会長・V連協副会長
横山 義和

